

開 ~ 心 で 満 点 ~

二本松南小学校だより No. 7

令和6年10月1日

発行責任者 校長 太田孝志

ようやく季節が秋らしくなってきました。子どもたちは、外部の講師による出前授業、見学学習、修学旅行、そして今後実施予定のコスモス発表会の練習と様々な行事を経験しながら学校生活を楽しく送っております。保護者の皆様には、充実した教育活動が実施できるように、お子様の健康管理や事前の準備等にご理解とご支援をいただきありがとうございます。



6年 修学旅行



5年アウトリーチ事業

さて、今月26日に開催されるコスモス発表会では、学習した成果を発表しようとどの学年も一生懸命に練習に取り組んでいるところです。ぜひ、その姿をご覧いただきたいと思います。

素敵な一日の始まり

朝、『おはようございます。』と明るく元気にあいさつする児童が増えてきました。大きな声であいさつする子、笑顔であいさつする子、目と目を合わせてあいさつする子。とてもありがたく、幸せなことだと思っています。

「あいさつをありがとう」、「元気をくれてありがとう」、「さすががしさをありがとう」「今日も一緒にがんばろう」という気持ちを込めて『おはようございます。』と子どもたちにあいさつをしています。

わずか9文字の言葉のやりとりですが、私にとってはとても大切な時間であり、子どもたちとの素敵な一日の始まりとなっています。



「一生懸命な姿・・・。」

日々の授業や今までのいろいろな行事での子どもたちが一生懸命に取り組む姿は、私たちに勇気と元気を与えてくれ、また、美しいものと感じさせてくれます。

上手でなくても恥ずかしがらずに、また、失敗していてもくじけずに前を向いて一生懸命に取り組む姿、自分らしく見栄や格好よさにこだわらずに目標に向かって一生懸命に努力する姿、子どもたちが励まし合いながら一致団結して目標に向かって一生懸命に取り組む姿、誰に対してもやさしく一生懸命に思いやる姿、そのどれもが美しいものです。そして、このような姿を当たり前のこととして自然にふるまえる人は、誰からも信頼され、苦悩や困難に出合ったときや思うような結果がでないときでも、常に心の支えとなり、自身の成長へとつながることでしょう。

「やらされている姿」「自分本位な姿」ではなく、子どもが自ら考え主体的に「自分の意思で前向きにやっている姿」であるからこそ、私たちは美しいものと感じるのかもしれませんが、子どもたちが毎日の生活の中で、このような「一生懸命な姿」が多く発揮できるようにしていきたいものです。

「一生懸命だと知恵がでる 中途半端だと愚痴がでる いい加減だと言いつける」(武田信玄)

私自身も、子どもたちに負けないように、また、子どもたちのお手本となるために「一生懸命な姿」を発揮していきたいと思っています。

※ 10月5日(土)から7日(月)は、子どもたちがとても楽しみにしている提灯祭りが開催されます。安全で楽しい3日間となるように、学校やご家庭でのルールに基づいて、お子様へのご指導をよろしくお願いいたします。